



< 綿貫 孝 (わたぬき たかし) >

国、地域 : タイ・バンコク

年 齢 : 71歳

現 職 : 日本料理店「花屋」二代目オーナー
日本食普及の親善大使

○長年にわたる日本食・食文化普及への多大なる貢献

- ・日本の味の提供、新しい日本産食材のタイ市場への紹介・普及拡大、王族や政財界幹部等への日本食の普及に尽力。
- ・1973年 タイに渡り、「花屋」の料理を担当。
- ・1980年頃 「花屋」の二代目として料理に加えて経営も担当。
- ・2021年 日本食普及の親善大使に就任。
- ・2022年 「花屋」創業83年目を迎え、三代目の綿貫賀夫氏とともに厨房に立つ。

1973年にタイに渡り、半世紀近くの長きにわたり料理人としてタイにおける日本食・食文化の普及に貢献。二代目として経営する日本料理店「花屋」はタイ日本食レストラン界における老舗中の老舗であり、同店を知らない日本食関係者はいないというほど、知られた存在である。

日本の伝統の味を守りながらも、レストランのメニューに新しい日本産食材を取り入れることにも熱心であり、日本でもまだ出回り始めたばかりの新食材も仕入れ、店頭やSNS上でタイ人の顧客向けに紹介する等、日本産食材の輸出促進や海外普及にも寄与している。

加えて、「花屋」で修業を積み日本料理人として活躍するタイ人シェフも多く、現地シェフの育成という点からも日本食・食文化の普及・伝承に尽力している。

また、「花屋」はタイ王室のパーティーや日本政府とタイ政府の会食等においても料理を提供してきており、日本食をタイの王族や政財界幹部に広めることにも貢献した。